

第43回通常総代会発言(要旨)

学習支援を必要としている子どもたちのために



豊支部 小田 啓之 総代

身の回りには学習上の困難を抱えているのに、適切な支援を受けていない子どもがたくさんいます。このような子どもたちへの学習支援がしたいという思

楽しく明るく食事を発展させたい



蒲田西支部 瀧口心み子 総代

昨年2月、蒲田西支部の活動として、東矢口で食事をやることになりました。調理の仕事

15年目の配食サービス けやき利用者募集中!



大森西・北蒲田支部 名和 厚子 総代

配食サービスを始めてから今年で15年を迎えますが、今、困難に直面しています。利用者が減少してきました。一時期は30食くらい作っていたのですが、今は20食に届かない日もあります。

20食に満たないとなるとこの配食サービスも赤字になって

いで「宿題外来」をはじめました。月一回、子どもたちが持ってきた教材、主として学校や塾の宿題に取り組むの見守り、必要に応じて学習指導を

しています。本間に支援が必要な子どもは参加がなかなか困難です。どう

をしているのか、それを生かして何かできないかと考え参加しました。

食事をというのははじめての試みでしたが、昨年4月に第一回目の食事を開催し、15人が参加しました。参加費は500円です。

みんなでおしゃべりをしながら食事をし、歌を唄ったりしました。毎月一回開催しています。

まいます。ご近所に、高齢者で食事作りが困難になっている方や週に一度くらいお弁当が来て調理しないで食事ができる、ホッとできるなどご希望の方を紹介してください。配膳できる地域は大森北・大森西・大森東です。1食600円です。

会場のころは大森は今建て直しの時期がきていますが、あと2年間は現在のまま使用できるそうです。その後どのような施設になるかは分かりませんが、同じように活動できるように大田区への要望を続けていきたいと思っています。

いことかとうと、学習の困難を抱えている子どもというのは生活でも困難を抱えています。

したがって生活が乱れていたり気持ちにムラがあるなど、月一回でもなかなか出てこないという状況です。

あちこちで無数の無料塾を立ち上げていただきたいと思えます。とにかく待っている子どもたち、学習支援を必要としている子どもたちがいっぱいいます。ぜひ無料塾を立ち上げてくださ

い。経験は不要です。何とかしてあげなくてはという気持ちだけが一番大事です。

最初は15人でしたが、今は7人くらいです。参加者から「おいしかった」「楽しかった」の声をいただき、それがとてもうれしくてこれからも続けたいと思っています。

中には参加したくても参加できない方もいて、そうした方にはできあがったものを届けたりすることができたらいいなあと思っています。

これまで現場仕事を行っていましたが、体を壊し、仕事が変わったところ、自分の心境も変化し人間関係づらさをしようと思いました。

よいことづくしのカフェの取り組み



大田病院 加島恵美子 総代

2015年11月から大田病院、京浜・三ツ木・ゆたか・うのきの各診療所で居場所づくりや交流のためにカフェや食事を開催しています。

自分らしくイキイキと安全に生活できること



虹の家おかせ 辺見 亮 総代

しおかげが開設されて今年で10年になります。入居者さんの介護度も少しずつ上がっています。介護の質、量ともに大きく変化してきています。そのため

わけて踊っていたり、気功をやっていたりしています。毎日接しているうちに知り合いもできてきました。そんな中で95歳の方と知り合いになりました。絵を描いたり陶芸をしたりとても元気な方です。その方と週一回ハーモニカやキーボードなど楽器演奏をしながら歌ったりするようになり

とにかく人の中に溶け込みたいことには活動はできません。これからは積極的にやっていると努めています。例えば麻雀をしたり、映画の上映会をしたり、カラオケをするなど協力してできればいいと考えています。

しさらに充実した実践ができることを目標に、また利用者さまの声を励みにできればと思

アンケートを行いました。今回わかったことは70歳以上の方の参加が8割で、自分で通ってこれる元気な方々です。

介護保険の利用は低いという結果です。他の方と異なるところです。そのものを生かすに努めています。また病院や診療所の患者さんが多いことから事業所で声かけが重要です。60%が1人〜2人暮らしの方であること

にもいろいろな研修を開催したり、外部の研修に参加したりしました。また近くの事業所と共同して事例検討会を行い、介護の見地を上げ実際の介護の現場でそれらを生かしています。これらの試みはこれからも継続していきたいと思っています。

近くの小学校・中学校・高校、保育園との交流も多く、小中高からは毎年体験学習に来てくれています。そして保育園からは園児が毎月来所され、歌や踊りを披露してくれます。その流れもあり昨年、保育園の運動会

断らない事業所を意識して



すずらん大森中 下川 卓 総代

2017年度、すずらん全体では黒字を確保し、大森中も利益が予算より上回りました。新規の利用者は毎月数件上がってきており、ケアマネジャーとの関係は良好で、困難なケースでも断らない事業所を意識してや

を考えると、継続した社会支援としての役割は大きいと思

「職員と親しくなれる」との回答から考えると、将来に対しての不安、困ったときの相談相手ほしい、親身にかかわってほしい、と求められているのではないかと感じました。

それに加えられる私たち医療に携わる者が、このようなコミュニケーションに力がかかわっていきことが大事だと学ぶことができました。

種目にも入居者さんが参加できました。園児と手をつなぎゴールテープを切る入居者の顔には普段の生活では見られない笑顔がありました。これらの交流も今後継続していきたいと思

入居者さんのできることもかなり減少し、転倒のリスクは劇的に上がってきています。その中で、入居者さんが自分らしくイキイキと安全に生活できることを実現するために、私たちは再度介護の内容や環境整備の検討をはじめたいと思

ついています。

離職率の高い介護業界ですが、大森中では定着率が高く、事務所内は利用者さんの情報交換をまめに行い風通しが良い職場です。男性ヘルパーが多いのが特徴です。ただ、ヘルパーの高齢化・人手不足は深刻です。これはすずらんだけではなく、どの事業所にも言えることでしょう。ヘルパーを募集してもなかなか入ってこない状況です。お知り合いで働きたいと思う人がいたらぜひ、ご紹介ください。

共に進めるヘルスプロモーション活動



生協本部 野口 修二 理事

今年度の活動方針に、新たに「ヘルスプロモーションの視点」という言葉が追加されました。

「健康づくり」では多くの場合、生活習慣の改善に主眼が置かれていましたが、本日のヘルスプロモーションの効果を考えて場合、SDH(社会的要因)の視点を生かすことが大切です。

第41期役員体制

- 理事長 植田栄一
- 専務理事 横山直城
- 常務理事 安齋晴夫・星野弘子
- 前沢淑子・村松茂
- 理事 浅見美代子・阿部直美・石川八郎・色部祐・江口雅人・江部謙五・大澤千恵子・大森由美子・奥嶋猛・川居直美・神田瑞穂・橋内信一・工藤人喜江・小林千夏・佐々木崇・志田恵子・下條都賀子・下山珠子・高橋貴美子・田中博子・塚平憲和・二木和雄・野口修二・野口祐美・波多野重紀・二村国太郎・保坂泰樹・本澤薫・馬島知子・森光男・安田

すでに、よろず相談や宿題外来、無料低額診療事業などの実践がはじまっています。

ヘルスプロモーションにおいては、医療機関が積極的な役割を果たすことが求められます。大田病院でも「HPH(ヘルスプロモーション)推進委員会」が

結成され、城南保健生協は委員会のメンバーになっています。城南保健生協の活動が本場に地域の健康づくりに貢献できる力を持つように、城南3法人の多くの職員と「SDHの視点をもって、共に進めるヘルスプロモーション活動」をめざしていきたいと思

久美子・吉川まゆみ 監事 伊藤邦夫・植木常夫・須山恵子

本総代会で役員を選出について採択されました。新体制の下、「健康で安心して住み続けられるまちづくり運動」をすすめていきます。

退任された役員の方々は、本当にお疲れさまでした。そしてこれからもよろしくお願ひします。

退任理事・監事(5人・敬称略) 50音順) 岡村英里子・笠原恭子・酒井一雄・戸張洋子・森崎良光

総代の皆さまへ

総代会当日、会場受付にて「大森東しあわせ食堂」および「ゆたか宿題外来」のカーンパにご協力いただきま

東しあわせ食堂 7406円、「ゆたか宿題外来」7210円です。集まったカーンパは、それぞれの運営に役立てさせていただきます。ありがとうございます。ご